

みよし風土記の丘ミュージアム 11・12月の行事案内

令和6年度秋の特別企画展

「古代を駆ける馬」



古墳時代は、朝鮮半島や中国大陸を通じて様々な文化が日本に取り入れられた時代で、馬の飼育や馬に乗る文化もそのうちのひとつとされています。

本展では、広島県内外で出土した馬具や馬形埴輪など馬にまつわる資料を中心に、古墳時代から奈良時代にかけての馬と人とのかわりについて紹介します。



三次市緑岩古墳出土 馬形埴輪（広島県立歴史民俗資料館蔵）

- 1 会 期 令和6年10月4日（金）～11月24日（日）
休館日 月曜日（11月4日を除く）、11月5日（火）
- 2 会 場 みよし風土記の丘ミュージアム 企画展示室（三次市小田幸町122）
- 3 展 示 資 料 古墳時代の馬形埴輪や馬具など約80点
- 4 入 館 料 一般800（640）円、高校・大学生520（410）円、小・中学生350（280）円
※（ ）内は20名以上の団体料金

5 関 連 行 事

（1）スペシャルイベント②「古代のアクセサリーづくり」

日 時：11月2日（土）10：00～15：00（随時受付。最終受付は14：00）

会 場：みよし風土記の丘 つどいの家（三次市小田幸町122）

定 員：先着20名（当日受付）

対 象：どなたでも（小学生以下は保護者の同伴が必要）

材料費：200円（基本セット〔勾玉1個と紐1本〕）＋追加石材の代金

※追加石材：勾玉用100円、管玉用100円、丸玉用100円

その他 ・タオルと飲み物を御持参ください。

・勾玉1個を作る時間は概ね1時間とお考えください。

・小さなお子様は保護者の手伝いが必要です。

（2）記念講演会2「日本古代における装飾馬具生産のはじまりと展開」

日 時：11月9日（土）14：00～16：00

会 場：みよし風土記の丘ミュージアム 研修室（三次市小田幸町122）

講 師：古川 ^{ふるかわ} ^{たくみ} 匠さん（京都府文化生活部文化政策室課長補佐）

定 員：100名（先着順）

参加費：無料（展示の観覧には別に入館料が必要）

申込み：電子申請システムで事前に申込み（詳細は下記の「◆イベント申込み用電子申請
フォーム一覧」へ）

風土記の丘ギャラリー

「暮らしと道具のうつりかわり」

「おもちゃ」の語源は、平安時代の「もてあそぶ（手に持って遊ぶ）」行為で、室町時代に「もちあそぶもの」から生まれたとされています。おもちゃを使う遊びは、子どもたちにとって楽しい時間であると同時に、体験を通してさまざまなことを学ぶ機会でもあります。

本展では、戦後のおもちゃを中心に、その種類や遊び方を振り返り、子どもたちが遊びから何を学んでいたのかを考えます。



戦後に使われたおもちゃたち
(当館蔵)

- 1 会 期 令和6年11月1日（金）～12月27日（金）
休館日：月曜日（11月4日を除く）、11月5日（火）
- 2 会 場 みよし風土記の丘ミュージアム 風土記の丘ギャラリー
（三次市小田幸町122）
- 3 展 示 資 料 戦後の時期のおもちゃ約70点
- 4 入 館 料 常設展の入館料で御覧いただけます。
一般200（160）円、大学生150（120）円、高校生以下・65歳以上無料
※（ ）内は20人以上の団体料金

◆イベント申込み用電子申請フォーム一覧

○記念講演会 2



◆公式Xについて

みよし風土記の丘ミュージアムでは、展示やイベント、体験教室といった様々な活動や所蔵資料の魅力などを発信するためにXを使用しています。

ぜひ、フォローして御覧ください。(https://x.com/hiroshima_prms)

